

令和5年度 環境活動スタート事業

1 実施校

いわき市立勿来第二中学校（全校生+保護者）

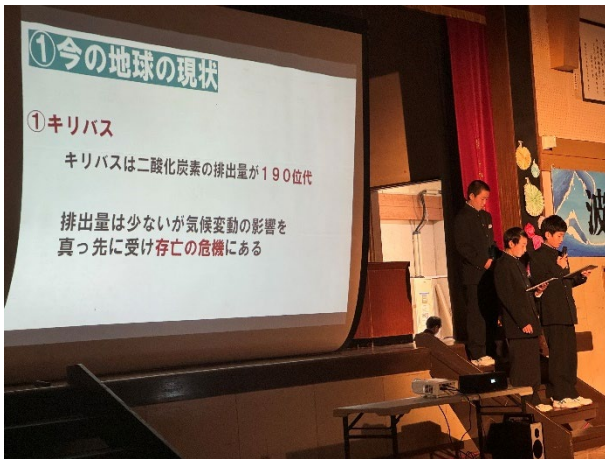
2 実施日

令和5年10月28日（土曜日）

3 内容

令和5年度 環境活動スタート事業講演会（※令和5年9月1日実施）で学んだ内容を生徒達がまとめて他学年、保護者に対し、文化祭で発表しました。

一般社団法人日本キリバス協会 代表理事のケンタロ・オノ氏が、文化祭に出席し、講評および講話を行いました。



今日のめあて

10月28日(土) 日直一学年

ゼロカーボンについて知識を深め、
将来のために実践しよう。

第2問

Q.海面上昇がこのまま続くと、今世紀中に水没してしまうと言われている国は、次のうちどれか？

A：キリバス
B：沖縄
C：フィリピン

2の解答


答えは、
Aのキリバス！

A：キリバス
B：沖縄
C：フィリピン




ミニコーナー
キリバスって？

面積730km²
人口128874人の
数々の諸島から
なる島国



50年に一度だった
環境変化が5年に一度、
1年に数回と
頻度が高くなっている



他にも・・・

- ・海面上昇により、貯めてある水と海水が混ざり、水が飲めなくなる。
- ・キリバスは二酸化炭素排出量世界190位代 日本は世界5位・・・

①今の地球の現状

①キリバス

キリバスは二酸化炭素の排出量が190位代

排出量は少ないが気候変動の影響を
真っ先に受け**存亡の危機**にある

「**国が沈まないようにするためにも対策が必要**」

①今の地球の現状

①キリバス

50年に1度だった環境変化も5年に1度、
1年に数回と**頻度が高**くなっている

「**気候変動で様々な問題**」

ゼロカーボンアクション30


ゼロカーボンアクション30

ひとりでひとりができること
ゼロカーボンアクション30



福島でのゼロカーボン宣言事業（学校版）

実践する地球温暖化対策の
取り組みを12項目から選択し、
宣言（セルフチェック）するもの



5 講評、講話を聞いての感想

1学年の発表が終わったあとに、ケンタロさんがしてくださった話を聞き、私はとても感動し、勇気をもらいました。話の中で、特に印象に残っている内容はやはり、前にも話してくださったキリバスと地球温暖化についてのことと、希望をなくさないでということについての内容です。キリバスと地球温暖化については、今回の私たちの発表と照らしあわせてみたら、改めて、節電や節水は、1人1人が意識して取り組めるものだったし、希望をなくさないでということについては、これからの人生を考えてみたときに、とても勇気をもらいました。これからも、自分ができることを探して、少しでもみんなのためになることをしていきたいと思います。

私は、講評を聞いて、キリバスやツバルなどの“他の国の話”ではなく私が住む日本も危機にさらされそうになっているということに驚きました。ケンタロさんの話を聞いた後、私はこの問題に対して誰も他人事では済まされないんだと改めて実感しました。なので、私たちが今まで授業でやってきたことを、広く発信し、一人一人が自国そして他の国を守るために行動することが大切だと思います。

キリバスだけの問題ではなく、日本などの国も関係しているから、私ができる事をしていって水沈まないようにしていこうと思いました。

また、周りの人達に節電、節水をしたり、ゴミのポイ捨てをしないようにして地球に負荷のない生活を心掛けていこうと呼びかけしようと思いました。50年、100年先の地球の状況が悪化していないように、これからの生活を気をつけようと思います。

勿来第二中に来て、発表を見ていただきありがとうございます。私が、ケンタロさんのお話を聞いて、心に残ったことがたくさんあります。1つ目は、人がよいことをすることです。ケンタロさんが、川が汚かったけど、地域や町の人で、ごみ拾いなどをして、川をきれいにする努力をしていたら、自然がもどってきたから、人がよいことをすると、地球もよいことをしてくれると言っていたところです。2つ目は、希望をもつということ。希望をもって生活をすれば、思っていたことがいつかは、起こると言っていたところです。

ケンタロ・オノさんが、私達1年生の総合発表を聞き、感激してくださってることが、とてもありがたいと思いました。ケンタロ・オノさんが愛しているキリバスが沈んでしまうことは、とても悲しいので、私もキリバスやその他の国々を救うために、ごみ拾い活動や節電・節水など、まず身近なところから取り組んでいきたいです。また、インターネットで調べて、現状を知り、現在よりもよりよい地球を目指すために、日々少しずつ活動を行いたい。全ての地球人が安心した毎日を送れるように、私は努力していきたいです。

ケンタロ先生のお話を聞いて、とても胸が熱くなりました。キリバスなどの外国の事ではなく自分の身の回りでも自然災害などが起きているという危機的状況だ、というあせりと暗い気持ちでいっぱいでした。ですが、ケンタロ先生の「希望はある」という言葉で私は「そうだ。私達が努力をすればできるはずだ。」とまた前を向く事ができました。自分が好きな勿来町、自分の居場所を守りたいです。ありがとうございました。